

2020.9

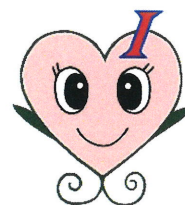
令和2年（2020年）度
前期学校評価

（よりよい学校づくりのためのアンケート調査）

結果の概要



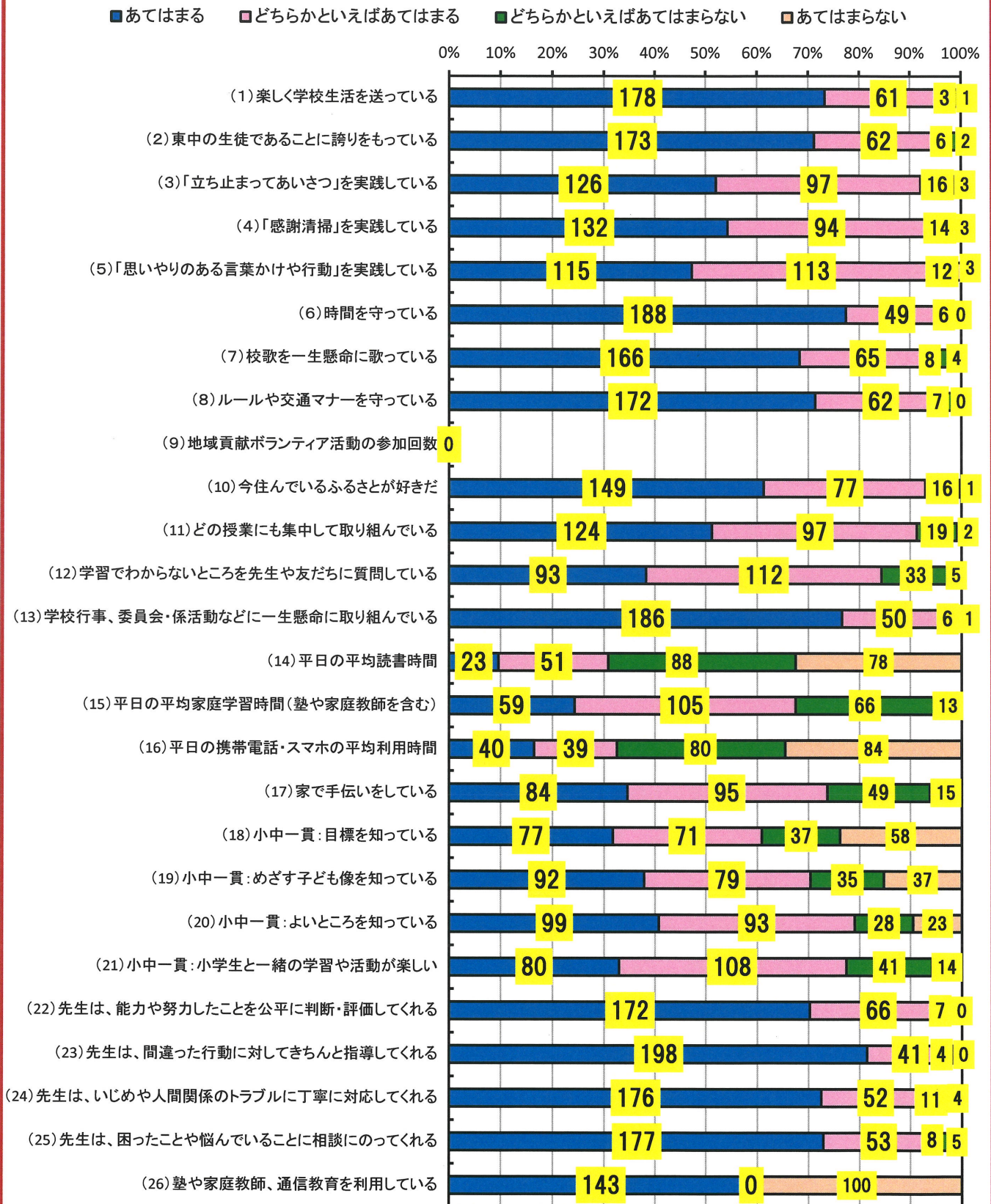
岩国ひがし学園
岩国市立東中学校



令和2年度 前期学校評価 生徒用 集計結果 (全校) 2020.7

※ 数値は回答者数 横軸はその割合(%)

回答率 92.4%



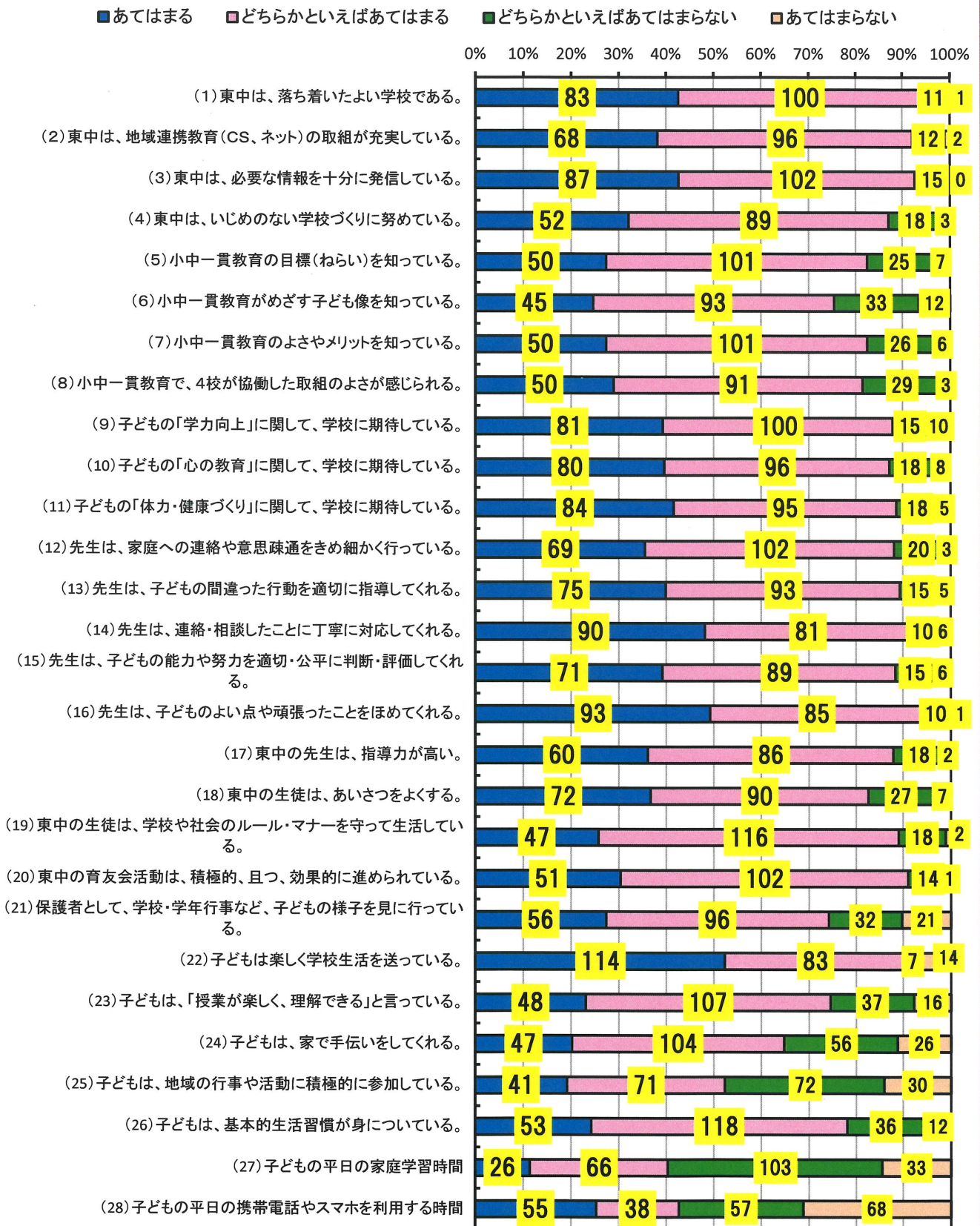
※ (9)は左から、5回以上 ・ 3~4回 ・ 1~2回 ・ 0回
 ※ (14)は左から、1時間以上 ・ 30分以上1時間未満 ・ 10分以上30分未満 ・ 10分未満
 ※ (15)は左から、2時間以上 ・ 70分(80, 90分)以上2時間未満 ・ 30分以上70分(80, 90分)未満 ・ 30分未満
 ※ (16)は左から、30分未満(持っていない) ・ 30分以上1時間未満 ・ 1時間以上2時間未満 ・ 2時間以上

令和2年度 前期学校評価 保護者用 集計結果 (全校)

2020.7

※ 数値は回答者数 横軸はその割合(%)

回答率 88.6%



※ (27)は左から、2時間以上・70分以上2時間未満・30分以上70分未満・30分未満、していない
 なお、70分は1年生の基準。2年生は80分、3年生は90分に置きかえる。

※ (28)は左から、持っていない・30分未満・30分以上1時間未満・1時間以上2時間未満・2時間以上

◎ アンケート集計結果の概要（P1, 2のグラフを参考にしてください）

- (1) 実施時期 7月13日（月）～7月22日（水）
 (2) 対象者数 生徒：263名 保護者：263名
 (3) 回答率 生徒：92.4% 保護者：88.6%
 (4) 集計結果（平均ポイントにおける上位・下位各7項目）

※ 4・3・2・1評価で、満点は4点、平均は2.5点です。

※ 4・3・2・1評価の数値の単位は%です。（小数点以下四捨五入）

① 生徒

上位	質問項目	平均ポイント	4評価	3評価	2・1評価
1	先生は間違った行動を指導してくれる	3.80	81	17	2
2	私は時間を守っている	3.75	77	20	2
3	私は行事・委員会・係活動に一生懸命	3.73	77	21	3
4	私は学校に行くのが楽しい	3.71	73	25	2
5	私はルールやマナーを守っている	3.69	71	26	3
6	先生は公平に判断・評価してくれる	3.67	70	27	3
7	私は東中生徒であることに誇りをもっている	3.67	71	26	3

下位	質問項目	平均ポイント	4評価	3評価	2・1評価
1	平日の読書の時間	2.08	10	21	69
2	携帯電話・スマホの利用時間	2.14	16	16	67
3	小中一貫教育 目標の認知度	2.69	32	29	39
4	平日の家庭学習の時間	2.86	24	43	33
5	小中一貫教育 めざす子ども像の認知度	2.93	38	33	30
6	家で手伝いをする	3.02	35	39	26
7	小学生と活動するのが楽しい	3.05	33	44	23

② 保護者

上位	質問項目	平均ポイント	4評価	3評価	2・1評価
1	先生は子どもの頑張りを褒めてくれる	3.43	49	45	6
2	先生は相談に丁寧に対応してくれる	3.36	48	43	9
3	子どもは楽しい学校生活を送っている	3.36	52	38	10
4	東中は落ち着いたよい学校である	3.36	43	51	8
5	学校からの情報発信が充実している	3.35	43	50	7
6	地域連携教育が充実している	3.29	38	54	8
7	体力・健康づくりで学校に期待している	3.28	42	47	11

下位	質問項目	平均ポイント	4評価	3評価	2・1評価
1	子どもの携帯電話・スマホの利用時間	2.37	25	17	57
2	子どもの家庭学習時間	2.37	11	29	60
3	子どもは地域行事に参加している	2.58	19	33	48
4	子どもは家で手伝いをしてくれる	2.74	20	45	35
5	子どもは授業が楽しく、理解できると言う	2.90	23	51	25
6	授業参観などで子どもの様子を見る	2.91	27	47	26
7	小中一貫 めざす子ども像の認知度	2.93	25	51	25

(5) 項目ごとの結果について

肯定評価（4・3の合計）が90%以上は、
生徒が25問中14問、保護者が28問中7問であった。
 それが80%以上となると、
生徒が16問、保護者が20問で、おおむね肯定的な評価が多かった。
 しかし、肯定評価が50%に満たない項目は、生徒が2問、保護者が2問であった。

【生徒、及び、保護者共通質問項目】 ※ ↘・↗は昨年度後期評価との比較

	共通質問	生徒 (R元後期)	生徒 (R2前期)	保護者 (R元後期)	保護者 (R2前期)
1	先生の適切な指導	3.73	3.80↗	3.32	3.27↘
2	楽しい学校生活	3.66	3.71↗	3.45	3.36↘
3	ルール・マナー	3.63	3.69↗	3.15	3.14↘
4	先生の公正な判断・評価	3.58	3.67↗	3.32	3.24↘
5	先生のトラブルへの丁寧な対応	3.54	3.65↗	3.49	3.36↘
6	授業が楽しく、よくわかる (授業評価より)	3.48	3.57↗	2.97	2.90↘
7	あいさつ	3.42	3.43↗	3.26	3.16↘
8	思いやりのある言葉 いじめのない学校づくり	3.34	3.39↗	3.22	3.17↘
9	小中一貫教育 よい点・メリ ットの理解	-	3.10	-	3.07
10	家で手伝い	2.95	3.02↗	2.72	2.73↗
11	小中一貫教育 めざす子供 像の理解	2.39	2.93↗	2.90	2.93↗
12	家庭学習時間	2.96	2.86↘	2.67	2.37↘
13	小中一貫教育 目標の理解	-	2.69	3.07	3.06↘
14	携帯・スマホ利用時間	2.25	2.14↘	2.57	2.37↘

【その他の質問項目】

生徒

- 「東中の生徒であることに誇りをもっている」について、97%が肯定評価であり、昨年度と比較して、評価ポイントも上昇している。（+0.14）
新校舎での生活が始まり、今後さらに上昇することを期待したい。
- 「感謝清掃」について、97%が肯定評価であり、昨年度比、上昇している。（+0.16）
昨年度の清掃目標は「無言清掃」であったが、今年度は「感謝清掃」にバージョンアップし、生徒は意識して清掃活動に取り組んでいる。新校舎ではさらにその気持ちを高めさせたい。（きれいな校舎をきれいなままで！）
- 「時間を守る」については、98%が肯定評価であり、昨年度比、上昇している。（+0.03）
1学期まではノーチャームであったが、生徒は時計を見ながら行動している。

- 「ふるさとが好き」について、93%が肯定評価であり、昨年度比、上昇している。(＋0.08) 小中一貫教育目標でもあり、諸活動を通して、ふるさと愛する気持ちを高めさせ、100%にしたい。
- 「授業に集中して取り組んでいる」について、91%が肯定評価であり、昨年度比、上昇している。(＋0.04) 生徒は、どの授業にも落ち着いて取り組んでいる。しかし、「わからないことを質問する」は肯定評価が84%、「家庭学習時間」については、肯定評価が67%と低く、授業内容の定着が課題である。今後は特に、宿題・復習・予習など、家庭学習を充実させる必要がある。
- 「小学生との交流活動は楽しい」について、77%が肯定評価であり、期待値が高いものと思われる。施設一体型の小中一貫教育校として開校し、今後、小学生との交流場面が増えていく。このポイントがさらに高まることが期待される。
- 「先生は、困ったことや悩んでいることに相談にのってくれる」について、昨年度比、上昇している。(＋0.04) これを含めて、共通質問にもあるように、先生の指導に対する生徒の評価は極めて高く、教員がいわゆる、「ま(任せて)・ほ(褒めて)・う(受け止める)」という合い言葉で指導・支援にあたっていることがうかがえる。引き続き、信頼される教師をめざして指導にあたりたい。
- 生徒には「通塾(または、家庭教師)」について質問したところ、全校で58%の生徒が通塾(あるいは、家庭教師)を活用していることがわかった。
 ※ 1年：56%、8年：51%、9年：68%

保護者

- 「東中は落ち着いたよい学校」について、94%が肯定評価であるが、昨年度比では若干下降している。(－0.13) しかし、一日の生活の中で、生徒に落ち着きがなく、生活態度が乱れていると思われる場面はなく、授業や諸活動をよく頑張っている。
- 「学力向上で学校に期待している」について、87%が肯定評価であるが、昨年度比では若干下降している。(－0.11) 今後は、恵まれた学習環境のもと、教員の授業力・指導力を向上させ、期待度を100%にしていきたい。
- 「心の教育で学校に期待している」について、87%が肯定評価であるが、昨年度比では若干下降している。(－0.13) 今後は、道徳教育や諸活動をはじめ全ての教育活動の中で、生徒の心を育てていきたい。
- 「体力・健康づくりで学校に期待している」について、89%が肯定評価であり、昨年度とほぼ同値である。グラウンドが未整備で、部活動も外部での活動が多い中、十分な体力をつけさせるための工夫が求められる。
- 「家庭への連絡や意思疎通」について、88%が肯定評価であるが、昨年度比では若干下降している。(－0.16) 今後は、さらにきめ細やかにご家庭と連絡を密にしていきたい。
- 「先生は子どもの頑張りを褒めてくれる」について、94%が肯定評価であり、昨年度とほぼ同値である。この質問に対する評価が最も高い。教員は、平素から、「ま・ほ・う」の言葉を意識して指導・支援に当たっているものと思われる。
- 「東中の先生は指導力が高い」について、88%が肯定評価であり、昨年度とほぼ同値である。学習指導・生徒指導ともに、お互いの切磋琢磨により指導力を向上させ、期待度を100%にしていきたい。
- 「育友会活動は積極的、且つ、効果的である」について、90%が肯定評価であり、昨年度とほぼ同値である。コロナ禍、様々な活動が中止となった1学期であったが、保護者の皆様のご理解とご協力に感謝している。
- 「授業参観などで子どもの様子を見に行く」について、74%が肯定評価であるが、昨年度比では若干下降している。(－0.18) 近年、お仕事をされる方が増え、なかなか来校できない状況が見て取れる。今後は、平素から、子どもたちの様子をお知らせする工夫をしていきたい。

- 「子どもは基本的な生活習慣が身についている」について、78%が肯定評価であるが、昨年度とほぼ同値である。近年、スマホの所持率が上がり、使用時間が増え、生活リズムを崩したり、トラブルに巻き込まれたりする等のケースが増えている。今一度、基本的な「早寝・早起き・朝食」、そして、「あいさつ・時間・礼儀・言葉遣いなど」が確実に身につくよう指導をしていきたい。
- (6) 学年ごとの集計結果を見ると、肯定評価(4・3評価)の差が顕著に(10%以上の差)表れている質問項目は次のとおりである。しかし、一般には、肯定評価が80%を超えると、「概ねよい状況にある」と言われています。

生徒

質問	低い学年	肯定評価	高い学年	肯定評価
感謝清掃を実践している	8年	83%	7年	98%
住んでいるふるさどが好きだ	8年	86%	9年	100%
平日のスマホの利用時間	9年	23%	7年	38%
平日の読書時間	9年	23%	7年	35%
授業に集中して取り組んでいる	8年	85%	9年	95%
小中一貫教育の目標を知っている	9年	53%	7年	73%
小中一貫教育のめざす子ども像を知っている	8年	62%	7年	84%
先生はいじめなどのトラブルにすぐ対応してくれる	8年	87%	7年	98%

保護者

質問	低い学年	肯定評価	高い学年	肯定評価
いじめのない学校づくりに努める	8年	76%	7年	98%
小中一貫教育のよさが感じられる	9年	76%	7年	90%
東中の先生は指導力が高い	8年	83%	7年	95%
生徒はよくあいさつをする	9年	74%	7年	92%
生徒はルールやマナーを守っている	8年	83%	7年	95%
授業や行事で子どもの様子を見に行く	7年	67%	9年	79%
子どもは基本的な生活習慣が身についている	7年	69%	9年	88%
平日の家庭学習時間	7年	32%	9年	51%
平日のスマホの利用時間	9年	34%	7年	55%

今後、教職員による4部会(学び・こころ・からだ・つながり)、並びに、学校運営協議会において、結果を精査し、改善策・対応策をまとめ、実践します。また、3小学校と結果を共有し、協力して取り組んでいきます。

【特に対応が急がれる項目】

- 読書時間を増加させる
- 家庭学習時間を増加させる
- 携帯電話・スマホの利用時間を減少させる(メディア・コントロール)
- 地域行事への参加、地域貢献ボランティア活動を充実させる
- 楽しく、わかりやすい授業を行う
- 小中一貫教育の目標、めざす子ども像、メリット(よさ)などの発信

◎ 小中一貫教育のねらい（全国の小中一貫教育校アンケート）

- (1) 中1ギャップの緩和など、生徒指導上の課題を解決する。（不登校の減少、人間関係づくりの促進、自己肯定感・自己有用感の醸成など）・・・96%
- (2) 学習指導の成果をあげる。（学力向上、家庭学習習慣の定着など）・・・95%
- (3) 9年間を通して児童生徒を育てるという教職員の意識改革につなげる。（新しい学校文化の創造など）・・・94%
- (4) 教員の指導力・授業力が向上させる。（小中お互いのよさの融合、協力体制の強化など）・・・79%
- (5) 異学年児童生徒の交流を促進させる。（コミュニケーションの機会・小学生の中学生へのあこがれや中学生の小さい子への思いやり）・・・75%
- (6) 特色ある学校づくりを進める。・・・74%
- (7) 地域との協働関係を強化する。（ふるさと愛ネットの活性化）・・・64%

等